

【 ヒヤリハット報告書記入要領 】

1. 記載日: 記載当日の年月日を記入(発生日から3日以内を基本とする)
2. 記載者: 所属・職種・氏名・経験年数(事業団入職からの年数)を記入
※他クラスへの応援の場合も当事者が記載する
3. いつ: 発生日時を記入
4. どこで: 発生場所を記入
5. どうしていた時: 発生前の状況を記入
6. どうなった(どうなりそうになった): 事実だけを簡潔に記入(推測は入れない)
7. 原因: 発生要因と思われる原因に○をつける(複数可)

	分類	例
人的 要因	確認不足	物品使用前の安全チェック不足・本人の力よりも高いレベルの遊具を設定した。
	観察不足	異食行為のある園児を園庭でフリーで遊ばせていた。
	報告漏れ	危険箇所気付きながら報告していなかったため放置することとなった。
	記録不備	記録漏れにより水分量・排泄状況がわからなくなった。
	連携不足	園児一人の対応で他の園児の対応が手薄になる中、応援を依頼しなかった。
	判断ミス	職員体制が厳しい中、危険度が高い遊具を出したままにしていた。
	知識不足	紐の結び方を知らなかった。
	技術・手技の未熟	紐の結び方は知っていたが、不適切な結び方になっていた。
環境的 要因	施設構造上の問題	2園舎(集会室奥)とおおぞらの施設ができていないと、園外に出るルートができる。
	設備上の問題	スライドドアと壁の間に隙間がある。
	物品の問題	ネジが外れやすくなっていた。固定する器具が不足している。
	教育・訓練不足	遊具の危険な箇所や使用方法についてレクチャーしていなかった。
	マニュアル不備	使用上の手順・方法について決まったマニュアルがない。
	体制組み立て上の問題	園児10人に対して、大人2人で園庭に出ていた。

8. 今後の対策: 分類した発生要因をもとに、対策を記入

※実現可能な対策を具体的に立案する

- ×「○○の場所には職員が必ず一人ついて見守る」→マンパワーでの対策は状況によりできなくなることも。
- 「○○(遊具)は、職員体制が4人以上でない時は出さない」→ルール化
- 「○○(遊具)は、倒れやすいため、ベルト固定する」→物品の改善

ヒヤリハット報告書

記載日:平成 年 月 日

記載者:所属 _____ 職種 _____ 氏名 _____ (_____ 年目)

【概要】

いつ	平成 年 月 日()	時 分	誰が	
どこで		どうしていた時		
どうなった (どうなりそうになった)				

【原因】 ※複数選択可

人的要因		環境的要因	
1)確認不足	2)観察不足	3)報告漏れ	4)記録不備
5)連携不足	6)判断ミス	7)情報共有不足	
8)知識不足	9)技術・手技の未熟	5)マニュアル不備	6)体制組み立て上の問題
10)その他()		7)その他()	

【今後の対策】

--

ヒヤリ・ハット報告

体験日時	平成	年	月	日 ()	時	分頃	場所		
園児名					体験者名				
出来事の内容	具体的内容						状況図など		
け が 等	1	転倒							
	2	転落							
	3	かみつき							
	4	ひっかき							
	5	切り傷							
	6	衝突							
	7	火傷							
	8	交通事故							
	9	骨折・脱臼							
	10	指挟み							
	11	その他							
ト ラ ブ ル	12	誤食・誤飲							
	13	アレルギー							
	14	その他							

ヒヤリ・ハット報告

体験日時	平成	年	月	日 ()	時	分頃	場所		
園児名					体験者名				
出来事の内容	具体的内容						状況図など		
け が 等	1	転倒							
	2	転落							
	3	かみつき							
	4	ひっかき							
	5	切り傷							
	6	衝突							
	7	火傷							
	8	交通事故							
	9	骨折・脱臼							
	10	指挟み							
	11	その他							
ト ラ ブ ル	12	誤食・誤飲							
	13	アレルギー							
	14	その他							